

# 月岡校下地区社会福祉協議会の状況

令和8年4月現在

設立年月

昭和51年9月

会 長	笹井 秀一		副会長	萩中孝洋・桑山正美	
事務局所在地	地区センター内・公民館内・その他（会長、事務局長宅等） ○をお願いします				
事務局TEL	429-0201	事務局FAX	428-9073	事務担当	合田郁夫
人 口	5,901 人	世帯数	2,674 世帯	高齢化率	40.98 %

1. 広報の作成（年2回）  
月岡社協の活動などを記載した「ふくしつきおか」の全戸配布を行っている。7年度、全面リニューアル。カラー印刷とし、発行も年1回から2回とした。
2. ふれあいケアネット活動（随時）  
民生委員が中心となり、チームを編成し、対象者の方々の見守り・声掛け等を行っている。チーム数は少ないが、多くの地域で声掛け等を行っている。
3. 子供ボランティア  
月岡小学校・中学校の児童・生徒の作品を、福祉施設等で展示し交流を促進。
4. 福祉委員研修会（年2回）  
1回目は「福祉」「社会福祉」の基本と地域包括支援センターの役割と現状。2回目のテーマは社協理事会で協議・決定し、「認知症」をテーマとして富山市長寿福祉課の保健師を講師として実施し、広報誌にも掲載した。
5. 福祉委員ブロック会議（年4回程度）  
4月の研修会時に、ブロック毎に会議（民生委員参加）の計画（日程・内容）を立てて実施。9月の敬老事業を全ブロックの共通テーマとして盛り込んだ。ブロック内の情報流通を主な目的としている。
6. 福祉のマップ作り  
作成されたマップを地域の現状に合わせて見直しをしている動きもある。
7. 給食ボランティア活動（年8回）  
弁当配布と各種団体・サークルの協力の下、軽運動・演奏会等を実施。
8. 敬老事業（9月）  
75歳以上の希望者に、民生委員・福祉委員が協力し「祝い菓子」を配布している。町内会長等にも協力を要請し、前年度の451個から504個に希望者数が伸びている。  
交通安全母の会の「高齢者世帯訪問活動」に協力した。



福祉委員研修会「認知症」



交通安全母の会

月岡校下地区社会福祉協議会 広報  
**ふくしつきおか** 40号  
2025年9月号

地域住民のしあわせを目指して

「ふくしつきおか」は、月岡校下地区社会福祉協議会が毎月発行している広報誌です。地域の福祉活動や、民生委員・福祉委員の活動、そして地域住民のみなさんの声や悩みを伝えるために発行しています。毎月発行している「ふくしつきおか」は、地域の福祉活動や、民生委員・福祉委員の活動、そして地域住民のみなさんの声や悩みを伝えるために発行しています。

編集：月岡校下地区社会福祉協議会  
発行：月岡校下地区社会福祉協議会  
発行所：月岡校下地区社会福祉協議会

会長の  
メッセ  
ー  
ジ

地域に密着した福祉活動を推進するため、福祉委員の活動を着実に広げていくことを主眼とした1年となりました。そのためには、福祉委員自身が地域を知ること、関心のあるテーマについて学ぶこと、そして情報流通が大切と考えて取り組んでいます。